

みずほCustomer Desk Report 2018/04/04 号 (As of 2018/04/03)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.85
TKY 9:00AM	105.80	1.2293	130.05	1.4048	0.7653
SYD-NY High	106.65	1.2336	130.92	1.4089	0.7706
SYD-NY Low	105.70	1.2254	129.98	1.4022	0.7652
NY 5:00 PM	106.60	1.2269	130.86	1.4060	0.7684
NY DOW	24,033.36	389.17	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	6,941.28	71.16	日本10年債	0.0300	▲1.00bp
S&P	2,614.45	32.57	米国2年債	2.2802	3.23bp
日経平均	21,292.29	▲96.29	米国5年債	2.5983	4.88bp
TOPIX	1,703.80	▲4.98	米国10年債	2.7798	4.73bp
シゴ日経先物	21,525	450.00	独10年債	0.5005	0.90bp
ロンドンFT	7,030.46	▲26.15	英10年債	1.3570	0.85bp
DAX	12,002.45	▲94.28	豪10年債	2.5965	2.40bp
ハンセン指数	30,180.10	86.72	USDJPY 1M Vol	7.50	▲0.15%
上海総合	3,136.63	▲26.55	USDJPY 3M Vol	7.90	▲0.10%
NY金	1,337.30	▲9.60	USDJPY 6M Vol	8.28	▲0.03%
WTI	63.51	0.50	USDJPY 1M 25RR	-0.86	Yen Call Over
CRB指数	193.21	▲0.17	EURJPY 3M Vol	8.33	▲0.19%
ドルインデックス	90.20	0.15	EURJPY 6M Vol	8.70	▲0.10%

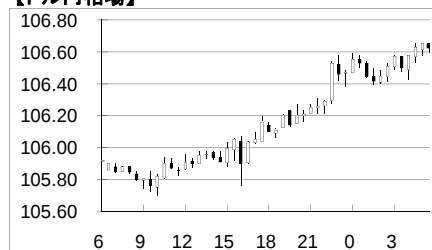
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月3日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	-	1.5%
	15:00	独 小売売上高(前月比/前年比)	2月 -0.7%/1.3%	0.7%/2.4%
	15:50	日 黒田日銀総裁「出口は部内でいろいろ議論しているが、市場との対話は差し掛かった段階」		
	16:55	独 マークイット製造業PMI・確報	3月 58.2	58.4
4月4日	05:30	米 ブレイク・FRB理事「緩やかな利上げ、引き続き適切」		

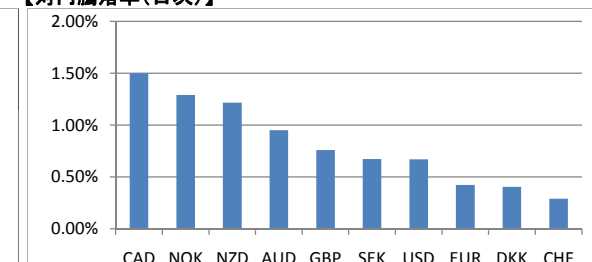
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月4日	18:00	欧 コアCPI(前年比)	3月 1.1%	1.0%
	21:15	米 ADP雇用統計	3月 210k	235k
	22:45	米 ブラント・セントリス連銀総裁 講演	-	-
	22:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンソリッド)・確報	3月 54.2/-	54.1/54.3
	23:00	米 ISM非製造業総合景況指数	3月 59.0	59.5
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	2月 -	3.1%
	23:00	米 耐久財受注(除く輸送用機器・前月比)・確報	2月 -	1.2%
4月5日	00:00	米 マスター・グループ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.00-107.00	1.2230-1.2330	130.00-132.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は堅調な値動き。欧州時間から欧州株が堅調に推移し、米国時間でもアマゾン・ドット・コムを巡る批判が後退するなど米国株に対するポジティブな内容によって米国株も上昇。さらに米国自動車販売が好調であるとの発表により、ドル買い圧力が強まる展開となり、ドル/円は106.60近辺まで上昇した。本日は、昨日の海外時間の堅調な株価動向を背景に日経平均株価も上昇し、ドル円の上昇圧力を強める展開を予想。

東京	東京時間のドル円は105.80レベルでオープン。前日海外時間の流れを引き継ぎ安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大させて前日比300円超の下落となる中、ドル円は安値105.70をつける。しかし、米株安の一因となったトランプ米大統領によるネット大手小売に対する批判は個別株への影響はあっても全体への影響は限定的になるとの見方もある中、日経平均株価は次第に下げ幅を縮小。本邦機関投資家等によるドル買いフローも意識されたこともサポート材料となり、堅調推移。引けにかけて東京時間高値106.06をつけ、106.05レベルで海外に渡った。(東京時間15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.05レベルでオープン。米金利が上昇する中、黒田日銀総裁が衆議院財務金融委員会で出口について議論していると答弁したことで、一時的に105.76まで売られるも、直ぐに戻して106.27まで上昇。106.25レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2313レベルでオープン。独3月製造業PMI改定値が58.2に低下し、17年7月以来の低水準となったことで1.2286まで小振む。1.2302レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.4067レベルでオープン。英3月製造業PMIが55.1(予想:54.7)に小幅上昇(前月:55.0)したが、ECBが英系銀行や企業に向けて1ユーロ/1ポンド(英国のEU強行離脱)のシナリオを想定し準備するよう警告を発したとの英紙報道(匿名の情報筋)が意識されてか、1.3890まで下落。NY参入後、押し目買いが入り、1.4050レベルでNYに渡った。(ロンドン時間15:00)
ニューヨーク	ドル円は、106.25レベルでNYオープン。本日は主要な米経済指標の発表やイベントも予定されていない中、「ホワイトハウスはトランプ大統領が批判している米オンライン小売大手に対して特段行動することは考えていない」と伝わる。これを受けて株式市場が大幅に反発する展開にドル円の買いが強まり、ドル円は106.59まで上昇。午後に入り、外リ・NY連銀の後任として、ウイリアムズSF連銀総裁が指名されたが、予想通りであったことから市場の特段の反応は見られなかった。その後は106.50を挟んでの狭いレンジでの推移が続くが、引けに掛けて株式市場が上げ幅を拡大させる展開に、ドル円は高値106.65まで上昇し、106.60レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは1.2336まで戻す局面もあったが、ユーロ圏3月PMIが予想と一致したものの、欧州景気はピークアウトしているとの見方からユーロ売りが優勢となり、一時1.2286まで反落し、1.2302レベルでNYオープン。期方は海外市場の流れを引き継ぎ1.2254まで下落する。しかし1.22台前半では買い意欲もあり、午後は1.2260-70付近での狭いレンジでの推移が続く。1.2269レベルでクロスした。(NY上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 福田・坂本